



IMS Japan Society

パネルディスカッション

GIGAスクール構想の先にあるもの

eラーニングアワード2021フォーラム
11月12日 10:20～11:50



パネルディスカッション

時間：11:00～11:45

内容：

GIGAスクール構想の実現に向けて、2020年度にはPC端末や構内LANが整備され、2021年度にはオンライン学習システム(MEXCBT)が構築される。

そして、そこではLTIやOneRosterといったIMS技術標準が利用されている。

本セッションでは次年度以降のGIGAスクール構想において整備が期待される、①デジタル教科書や教材、②LRSと連携した学習ログ分析、③学習指導要領コードの活用、におけるIMS技術標準の適用について各専門分野のパネリストとのディスカッションを通じて、GIGAスクール構想の先にあるものを展望する。

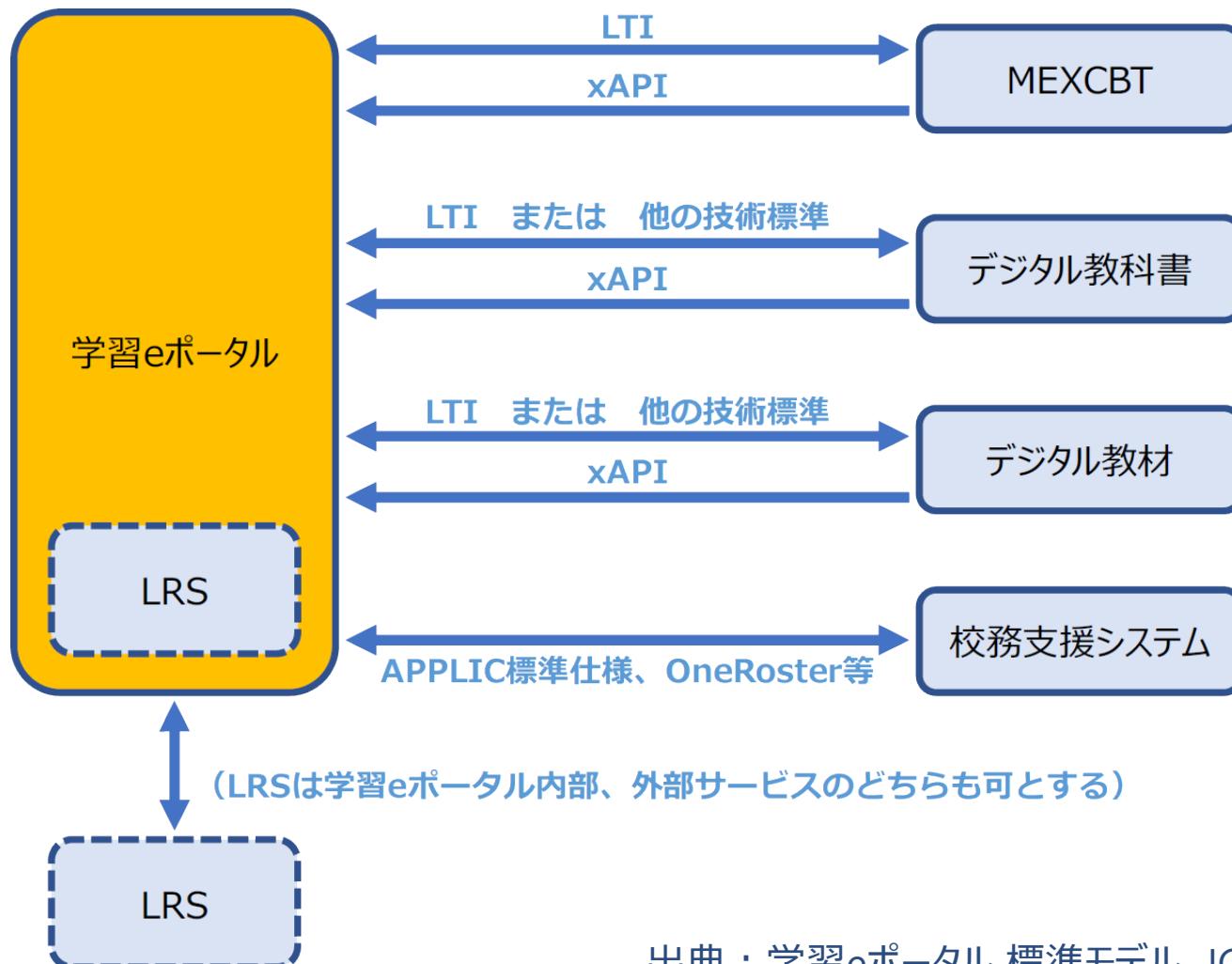
パネリスト(敬称略)：

下川和男 日本電子出版協会(JEPA) 副会長 / イースト株式会社 取締役会長
佐々木公博 株式会社 ネットラーニングホールディングス 執行役員
森下誠太 株式会社 内田洋行

コーディネーター：

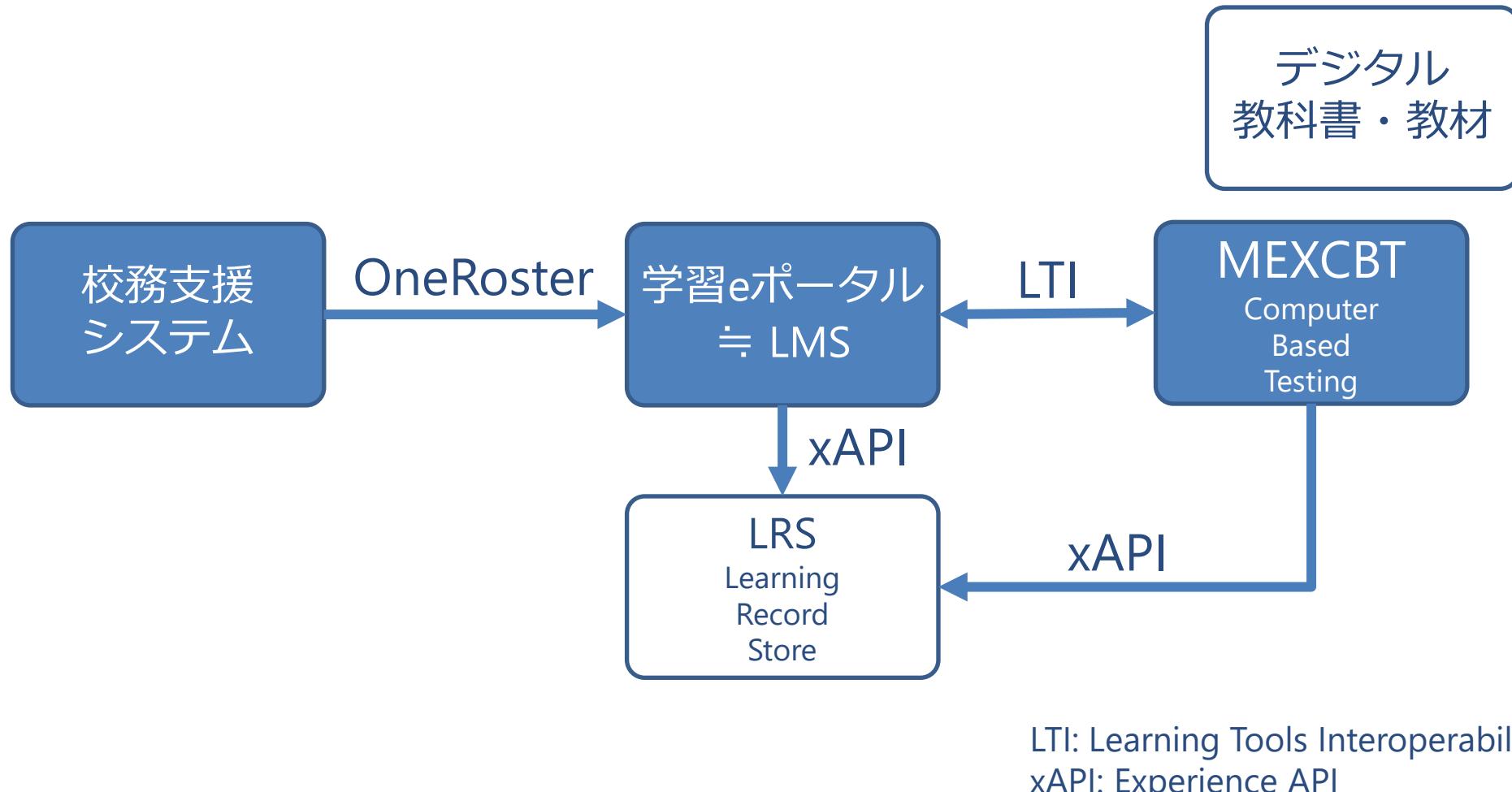
常盤祐司 日本IMS協会 技術委員長

学習 e ポータルとの接続 インタフェース 概念図

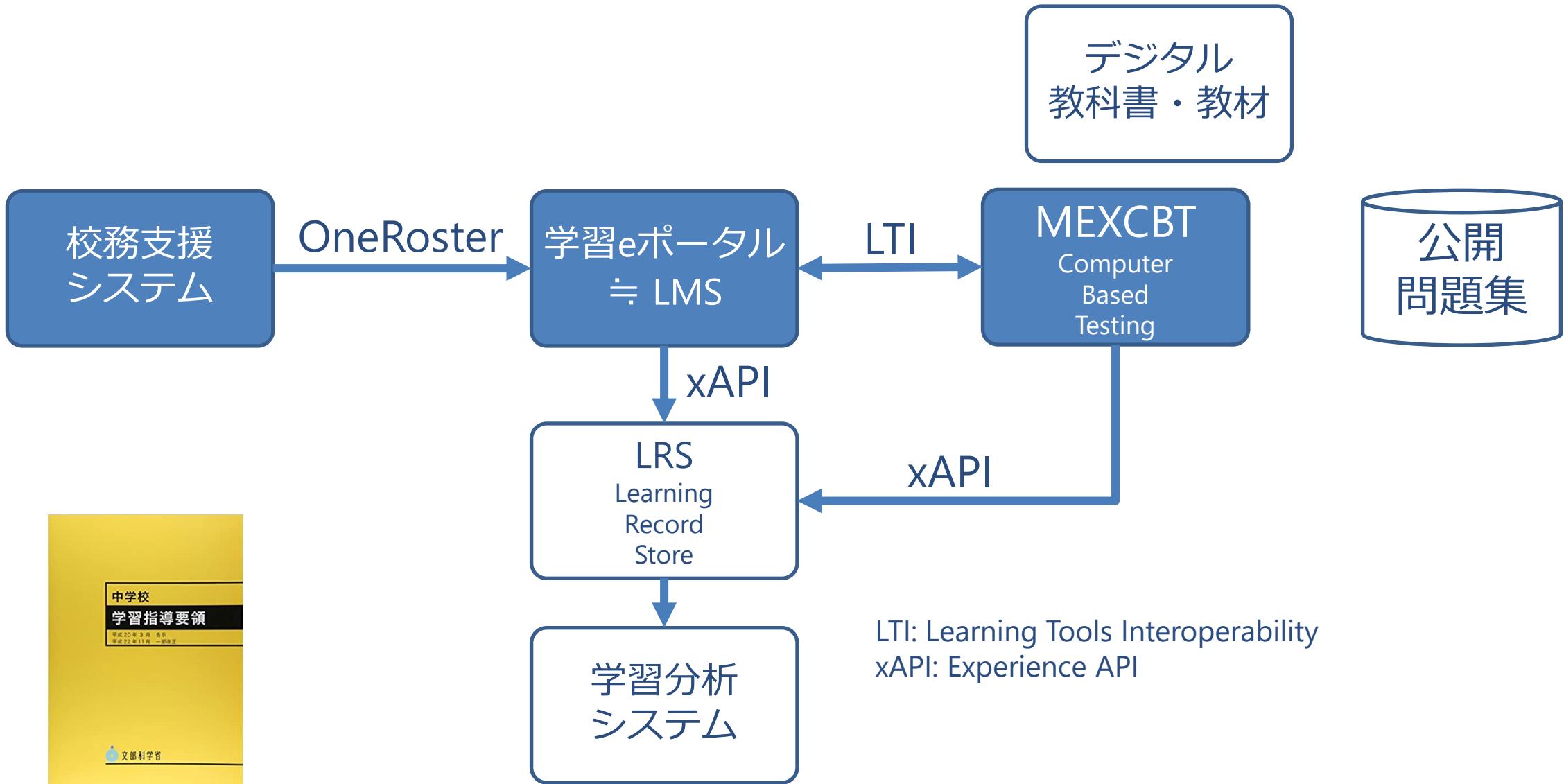


出典：学習eポータル 標準モデル、ICT CONNECT 21
学習eポータル サブワーキンググループ、2021年3月25日

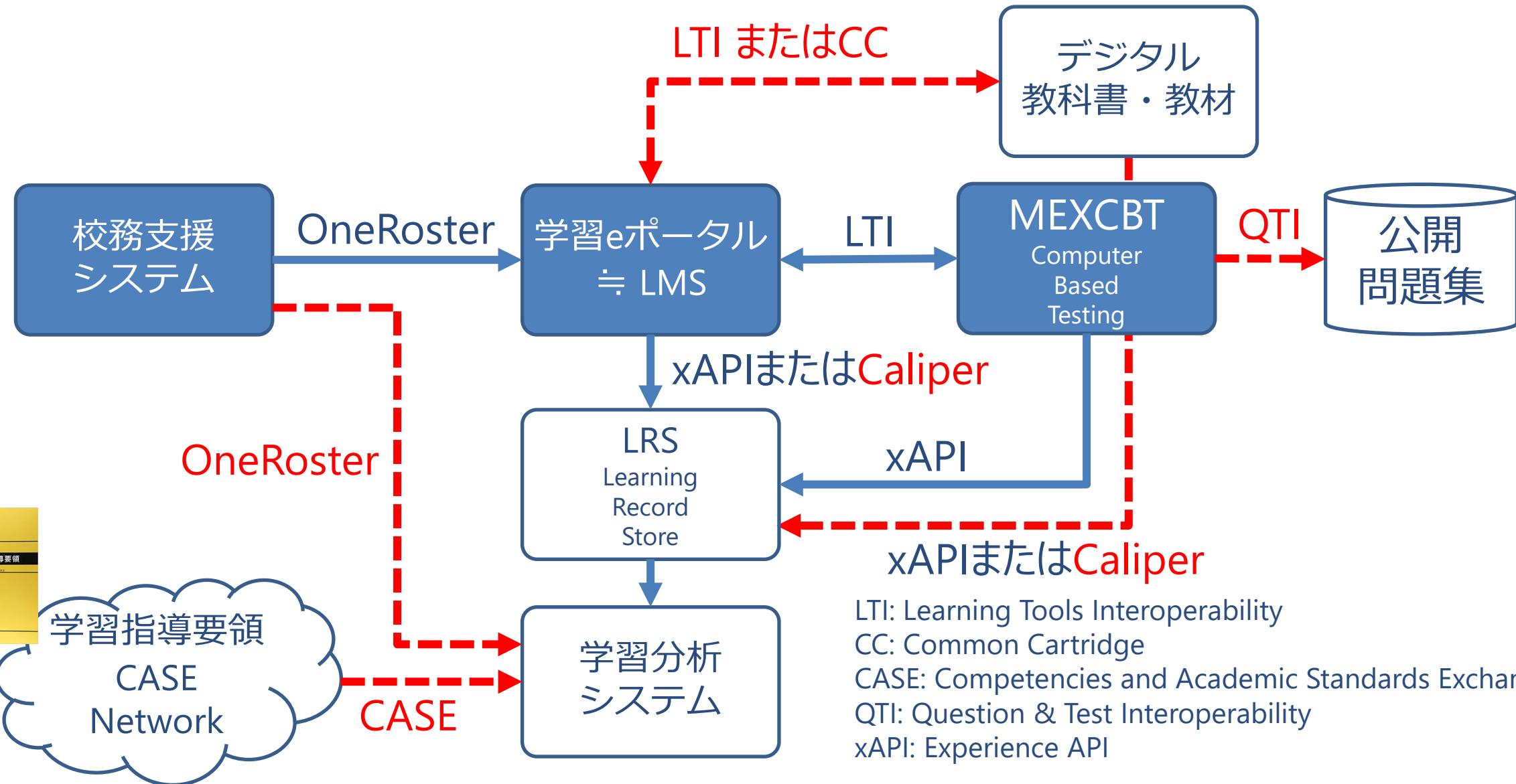
IMS技術標準を適用したシステム構成



IMS技術標準を適用したシステム構成



IMS技術標準の適用可能性



パネルディスカッション

米国におけるデジタル教科書は、LTIのほかCommon Cartridgeでパッケージしたコンテンツで提供されています。
デジタル教科書・教材をGIGAスクールにて活用するために
日本IMS協会は何をすべきでしょうか？

xAPIとCaliperは共存できると考えられます。
GIGAスクールでCaliperの可能性はないでしょうか

学習指導要領とそのコードはすでに整備されています。
CASEネットワークを構築して、
実証実験を行うことはできないでしょうか？

今年9月1日にデジタル庁が設立されました。
日本IMS協会やGIGAスクールとの好ましい関連性を
ご紹介いただけないでしょうか？

GIGAスクールに関連するe-Learningベンダーが、
IMS技術標準を自社製品に組み込むには
何をすればよいでしょうか？